

令和2年12月11日

令和2年第3回神奈川県議会定例会

ともに生きる社会かながわ推進特別委員会資料

1	障がい及び障がい者の理解促進について……………	1
2	スポーツを通じた共生社会の実現について……………	3

1 障がい及び障がい者の理解促進について

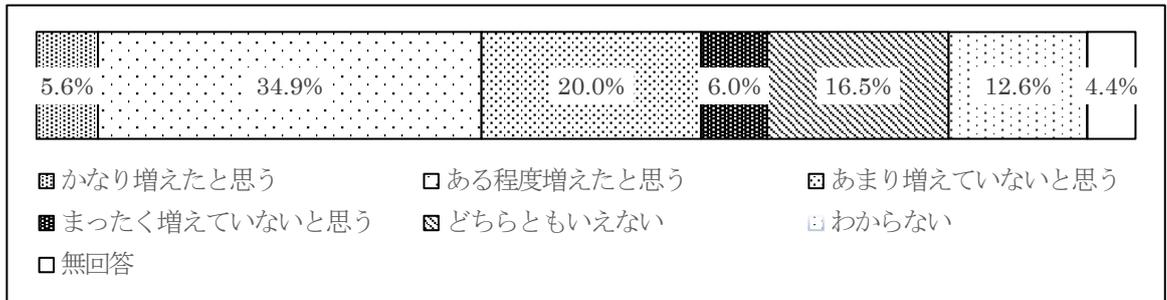
(1) 県民の障がい及び障がい者の理解に関する状況

(令和元年度「県民ニーズ調査」)

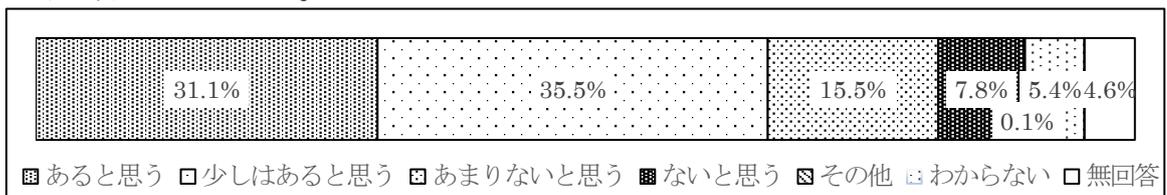
「あなたは、身近で障がい者と接する機会がありますか。」との問いに対して、3割強の方が「ある」と回答している。



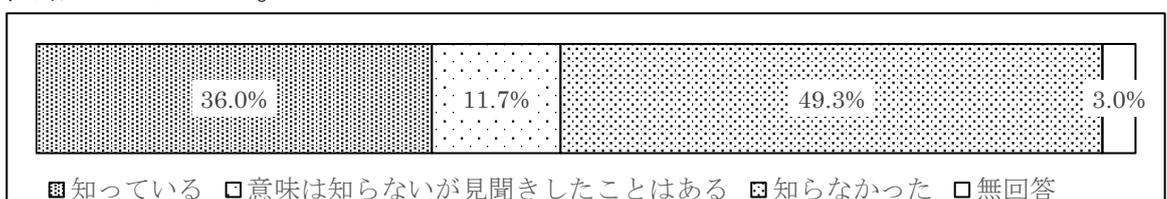
「あなたは、5年前と比べて、障がい者に配慮した行動をとる人が増えたと思いますか。」との問いに対しては、「かなり増えたと思う。」、「ある程度増えたと思う。」を合わせて、約4割の回答があった。



一方で、「あなたは、障がい者に対して、障がいを理由とする差別や偏見があると思いますか。」との問いに対しては、「あると思う。」、「少しはあると思う。」を合わせて、6割強の回答があった。



また、見た目で分かりにくい内部障がい者等に対して、配慮が必要なことを示すヘルプマークを、「あなたは知っていますか。」との問いに対しては、「知っている。」と回答した方が3割強であった。



(2) 主な取組み

ア 障害者理解促進コーディネート事業

公共交通機関や宿泊施設、百貨店、金融機関など、障がい者が利用する企業等における障がい者への理解を促進し、障がい者の社会参加を進めるため、企業等に対して障がい者への配慮などに関する研修の実施を働きかけるとともに、障がい当事者等の講師の紹介や派遣を行っている。

<実績>

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
働きかけを実施した企業数	646 か所	976 か所	2,126 か所	1,148 か所	1,020 か所	1,705 か所
研修実施回数	36 回	35 回	16 回	7 回	27 回	37 回
受講者数 (延べ)	735 人	739 人	251 人	160 人	740 人	1,000 人

イ 心のバリアフリー推進員養成研修事業

企業等において障がい者に対する取組みの中心的な役割を担う「心のバリアフリー推進員」を養成するための研修を実施している。研修修了者に対しては、各企業等において障がい者への理解に関する研修の実施を働きかけている。

<実績>

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
心のバリアフリー養成研修修了者	52 人	70 人	40 人
心のバリアフリー養成研修企業数	34 社	35 社	25 社

ウ ヘルプマーク

内部障がい者等外見からわからなくても援助や配慮を必要としている方が周囲の方に配慮を必要とすることを知らせることで援助を得やすくなるよう、「ヘルプマーク」を作成し、市町村を通じて配布している。

また、交通事業者や市町村とともに、ヘルプマークの趣旨についての普及啓発を行っている。

<実績>

配布数（令和2年9月末現在）	約 84,900 個
----------------	------------

2 スポーツを通じた共生社会の実現について

県では、すべての人がそれぞれの関心、目的、体力、年齢、運動機能、健康状態に応じて、生涯にわたり楽しみながらスポーツを「する」「観る」「支える」ことを「かながわパラスポーツ」と捉え、スポーツを通じた共生社会の実現に向けて、その普及に取り組んでいる。

(1) かながわパラスポーツの普及啓発

ア 障がい者スポーツ協会の設立

本県の障がい者スポーツ推進の中心となる団体として令和2年3月に設立された一般社団法人神奈川県障がい者スポーツ協会と、県立スポーツセンターが連携し、障がい者スポーツの普及・推進を行う。

<団体概要>

目的：県内の障がい者スポーツの普及・啓発及び競技力の向上に資する事業を行い、スポーツを通じて「ともに生きる社会かながわ憲章」を実現することを目的とする。

主な事業：障がい者スポーツ教室、障がい者スポーツ指導者資質向上研修 等

イ パラスポーツ体験会等への講師派遣

市町村等が開催する各種イベントにおいて、パラスポーツミニ体験会の実施を支援するため、競技団体や県内のクラブチームから講師を派遣する。

<令和2年度実績・実施予定>

- ・市町村イベント 2市町 ・県立高等学校との連携 1校
- ・その他イベント 1か所

ウ パラスポーツVR体験会の実施

内閣官房の「オリパラ基本方針推進調査事業」を活用した共生社会ホストタウンの取組みの一つとして、市町村等と連携し、VR（バーチャル・リアリティ（仮想現実））を利用した臨場感のあるパラスポーツの体験会を開催する。

<令和2年度実績>

実施日	連携事業（場所）	内容	参加者
11月1日（日）	小田原市理解促進研修・啓発事業（小田原アリーナ）	陸上競技用車いすレーサー、車いすラグビーのVR体験、	29人
11月21日（土）	星槎箱根フェスティバル（星槎大学箱根キャンパス）	陸上競技用車いすレーサーの試乗等	21人

エ 県立学校におけるパラスポーツの理解促進

全ての県立学校において、オリンピック・パラリンピックに係る取組みを、一校につき一プログラム以上実施する「オリンピック・パラリンピック教育プログラム」に取り組んでおり、シッティングバレーボールやボッチャの体験教室などを実施している。

(2) かながわパラスポーツ推進に向けた環境整備

ア 県立スポーツセンターの整備

誰もがスポーツに親しみ参加できるように、県立スポーツセンターを、本県における障がい者スポーツの推進拠点として整備し、令和2年7月から供用開始した。

<障がい者スポーツ関係の主な整備概要>

施設全体：車いすの方などが利用しやすいゆとりある導線、勾配

メインフロア：車いすラグビー用のコート2面分の広さで整備し、競技用車いすのメンテナンス用の部屋なども設置

多目的フロア：視覚障がいのある方が音を頼りにゴールボール等の競技ができるよう補聴器の性能をアップする装置や防音設計の壁を設置

50m屋内プール：車いすに乗ったままでプール内に入ることができるようスロープを設置

更衣室：障がいのある方が余裕をもって着替えることができる広めの個別の更衣スペースを確保

宿泊棟：全42室すべてがバリアフリー対応で、車いすのままで利用可能な浴室を完備

イ パラスポーツ用具の貸出

各団体・機関等に、県立スポーツセンターで整備したパラスポーツ用具を貸出すことにより、各団体や機関等のパラスポーツ体験会等の実施を支援する。

<令和2年度実績>

貸出用具：ボッチャセット、ゴールボール用ボール・アイシェード、フロアホッケーセット、フライングディスク 等

貸出件数：29件（令和2年11月30日時点）

ウ 特別支援学校等の施設を活用し、総合型地域スポーツクラブ等と連携した障がい者スポーツプログラムの提供

障がい者が地域でスポーツに親しむ機会の環境整備に向け、総合型地域スポーツクラブと連携し、県立特別支援学校の施設・設備を活用した児童生徒へのスポーツプログラムの提供等を行うモデル事業を実施する。

(3) 障がい者スポーツを「する」「観る」「支える」

ア 障がい者スポーツをする機会の提供

(ア) 障がい者スポーツ教室の開催

本県における障がい者スポーツの拠点として整備した県立スポーツセンターの施設・設備を活用して、障がい者が継続的にスポーツに取り組めるよう、スポーツ教室を開催する。

<令和2年度実績・実施予定>

- ・期間：秋季 令和2年10月～12月、冬季 令和3年1月～3月
- ・教室種目：水泳、ボッチャ、卓球、サウンドテーブルテニス、ダンス、トランポリン

(イ) 障害者スポーツ推進プロジェクトを活用したアドバイザーの派遣

スポーツ庁の委託事業「障害者スポーツ推進プロジェクト」を活用し、障がいのある方が日常的に利用する施設等でスポーツを楽しむことができるように、支援方法の提案等のフォローアップを行うアドバイザー派遣事業を行う。

<令和2年度実施予定>

生活介護等 6施設

(ウ) 精神障がい者スポーツ体験会「ピアスポーツかながわ」の開催

日頃スポーツに触れることの少ない精神障がい者のスポーツ体験会として、「ピアスポーツかながわ」を開催する。

<令和2年度実績・実施予定>

実施日	開催場所	実施競技	参加者
10月1日(木)	横浜市神奈川スポーツセンター	バスケットボール、フットサル、卓球、バドミントン、軽スポーツ	44人
12月17日(木)	秦野市総合体育館		-
1月29日(金)	県立スポーツセンター		-

(エ) 県立特別支援学校におけるスポーツの推進

- a 全県立特別支援学校の児童生徒・教員を対象に、スポーツに対する意識及び技能を向上させるため、平成28年度から、トップアスリート等によるスポーツ種目及びパラスポーツ種目を体験するスポーツ教室を実施している。この教室には地域の小・中・高等学校の児童生徒・教員、住民等も参加できるようにすることで、障がい者スポーツに対する意識及び技能を高め、交流及び共同学習の一層の充実に取り組んでいる。

<令和2年度実施予定>

新型コロナウイルス感染症蔓延防止を十分踏まえた対策を講じた上で、児童・生徒等の実態に合わせたスポーツ教室を年間3回程度実施する。

- b 全県立特別支援学校の児童生徒の生涯スポーツの充実をめざし、平成28年度から、運動・部活動の活性化を図るため、障がいの状態に応じたスポーツの参加を推進するための用具を整備している。

<令和2年度整備予定>

- ・ ティーボールセット
- ・ プレイバルーン

イ 障がい者のスポーツ大会の開催

(ア) 神奈川県障害者スポーツ大会の開催

スポーツを通じて障がい者の健康の維持及び体力の増進、並びに活発な精神活動の促進を図るとともに、県民の障がいに対する理解を一層深め、障がい者の社会参加推進に寄与するため、県障害者スポーツ大会を開催する。

<令和2年度実施予定>

競技会名	実施日	開催場所	参加者
卓球競技会 (精神)	1月15日(金)	県立スポーツセンター	-
卓球・サウンドテーブルテニス競技会 (知的・身体)	1月17日(日)	県立スポーツセンター	-
ボッチャ競技会 (身体)	2月21日(日)	県立スポーツセンター	-
水泳競技会 (知的・身体)	3月7日(日)	さがみはらグリーンプール	-

新型コロナウイルス感染症の拡大により、4月から6月に予定していた陸上等の5競技会は開催中止とした。

また、全国障害者スポーツ大会(第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」)の令和2年度開催は中止となった。

(イ) 神奈川県精神障害者スポーツ大会の開催

精神障がい者のスポーツ参加機会を提供し、社会参加を推進するとともに自立を促進するため県精神障害者スポーツ大会を開催する。

<令和2年度実績・実施予定>

競技会名	実施日	開催場所	参加者
バレーボール競技会	11月6日(金)	県立スポーツセンター	57人
ボウリング競技会	12月11日(金)	湘南とうきゅうボウル	-

(ウ) 神奈川県ゆうあいピック大会への支援

県障がい者スポーツ協会が開催する知的障がい者のスポーツ大会「神奈川県ゆうあいピック大会」に対し補助を行う。

<令和2年度実績>

実施日	開催場所	実施種目	参加者
10月31日(土) 11月1日(日)	県立スポーツセンター	バスケットボール	147人
11月15日(日)	県立西湘スポーツセンター	サッカー	87人
11月23日(月・祝)	横浜市神奈川スポーツセンター	バレーボール	26人

(4) 障がい者スポーツを支える人材の育成・活用

ア 神奈川県障害者スポーツサポーターの養成

障がい者のスポーツを支え、継続的な障がい者スポーツの推進を図るとともに、障がい者スポーツに対する理解を促進する人材を養成するための講習会を開催する。

<令和2年度実施予定>

講習会：4回 定員：各回25人 計100人

受講資格：県内在住・在勤・在学、12歳以上 等

講習内容：障がい者の理解、障がい者スポーツの概要と体験 等

イ 初級障がい者スポーツ指導員の養成

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会が定める公認障がい者スポーツ指導者制度に基づき、障がい者の適性に応じたスポーツの指導法及び障がいについて基本的な知識を身につけるための講習会を開催する。

<令和2年度実施予定>

講習会：1回 定員：20人

受講資格：県内在住・在学、18歳以上 等

講習内容：障がい者スポーツの意義と理念、指導上の留意点と工夫 等

ウ ボッチャ審判員養成講習会

障がいの程度に関わらず参加できるボッチャ競技会を県内で開催する際の審判の養成講習会を開催する。

<令和2年度実績>

講習会：1回 養成数：11人

受講資格：県内在住・在学、18歳以上、障がい者スポーツ指導員、障がい者スポーツサポーターの資格のある者 等

講習内容：審判としての心得、実践演習、審判実技 等

エ 障がい者スポーツ指導者資質向上研修

県が養成した障がい者スポーツを支える人材を対象に、より高い専門性を有し、障がい者スポーツを普及、推進する指導者として、資質の向上を図るための研修会を開催する。

<令和2年度実施予定>

研修会：5回

受講資格：県内在住・在勤・在学、障がい者スポーツ指導員、障がい者スポーツサポーターの資格のある者 等

講習内容：障がい特性に応じた指導方法、競技特性に応じた指導方法、トレーニング論 等

オ 障がい者スポーツ人材マッチング

県がこれまで養成した障がい者スポーツを支える人材を有効活用するため、障がい者スポーツの競技会やイベント等で活動を希望する者と主催者のマッチング事業を行う。

(5) 障がい者アスリートの育成・支援

神奈川県育ちのアスリートが国際大会で活躍することを目指し、東京2020大会の種目に加えて、冬季パラリンピックやデフリンピックにおいて活躍が期待される選手及びその指導者も対象に活動を支援する。

ア 対象競技

夏季及び冬季のパラリンピック、デフリンピック正式競技

イ 支援対象者の要件

(ア) 選手

次の項目のいずれかに該当する夏季・冬季パラリンピック、デフリンピック正式競技の選手で、日本パラリンピック委員会加盟団体強化指定選手又は強化指定が有力、かつ、夏季・冬季パラリンピック、デフリンピックにおいて活躍が期待される者。ただし、独立行政法人日本スポーツ振興センターのトップアスリートに認定されている選手は除く。

- ・ 神奈川県内に在住、在勤又は在学している者
- ・ 神奈川県内に主な活動拠点を有する者
- ・ 神奈川県内の中学校、高等学校又は特別支援学校等を卒業した者

(イ) 指導者

支援対象者に選考された者の指導者

(ウ) 補助額・対象人数

a 選手

1人あたり年間 50 万円以内 30 人

b 指導者

1人あたり年間 25 万円以内 3 人

ウ 令和2年度の交付状況

目指す競技大会	選手	指導者
夏季パラリンピック	23 人	2 人
夏季デフリンピック	6 人	0 人
冬季デフリンピック	1 人	1 人

冬季パラリンピックの支援対象者は無し。

(6) 東京2020パラリンピック競技大会での共生社会の実現に向けた取り組み
ア パラリンピック聖火フェスティバル

「ともに生きる社会かながわ」の実現に向けた県民総ぐるみの思いを込めて全市町村で「採火式」を行ったうえで、その火を一つにし、東京へと送り出す「パラリンピック聖火フェスティバル」を開催する。

実施日程は、各市町村の採火式が令和3年8月12日（木）から15日（日）の間、神奈川県を集火・出立式が令和3年8月15日（日）となった。今後、新たな日程に伴う会場の確保など、必要な準備を着実に進めていく。

なお、パラリンピック聖火リレーは、開催会場が所在する静岡県・千葉県・埼玉県・東京都でのみ実施され、本県では行われない。

イ パラリンピック事前キャンプ

東京2020大会に出場する選手を身近に感じ、スポーツ振興や国際交流の推進を図るため、各国・チームの事前キャンプを受け入れ、交流事業等を実施する。

<県内のパラリンピック事前キャンプ誘致の状況>（決定順）

【相手国】

- ・イギリス
 - ・リトアニア
 - ・ポルトガル
 - ・ニュージーランド（車いすラグビー）
- } （種目未定）

【受入自治体】

- 横浜市・川崎市
- 県・平塚市
- 県・藤沢市
- 厚木市

(7) 第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会の開催

令和4年11月、本県で初の開催となる高齢者を中心としたスポーツと文化の祭典「第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会」（愛称：ねんりんピックかながわ2022）を開催する。

開催に当たっては、「高齢者はもとより、誰もが交流やふれあいを深め、笑顔あふれる地域共生社会の実現に向けた大会」とすることも目標としている。

※ 当初来年度に開催を予定していた「第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会」は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、令和2年度に開催予定であった「第33回全国健康福祉祭ぎふ大会」が1年延期されたことに伴い、令和4年度への開催延期が決定された。

ア 全国健康福祉祭（ねんりんピック）の目的・沿革

スポーツや文化種目の交流大会をはじめ、健康や福祉に関する多彩なイベントを通じ、高齢者を中心とする国民の健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与するため、厚生省創立50周年に当たる昭和63(1988)年から毎年開催されている。

イ 「ねんりんピックかながわ2022」の概要

主催	神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市、厚生労働省、 (一財)長寿社会開発センター
共催	スポーツ庁
会期	令和4年11月12日(土)～11月15日(火)
交流大会開催種目	32種目・26市町 ※各種目の実施市町は別記
総合開会式	令和4年11月12日(土) 横浜アリーナ
総合閉会式	令和4年11月15日(火) 横須賀芸術劇場
参加予定人員	延べ約60万人(観客を含む)
大会目標	1 未病改善で笑顔あふれる人生100歳時代を目指す大会 2 誰もがともに生きる社会の実現に向けた大会 3 ラグビーワールドカップ2019™、東京オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーを引き継ぐ大会 4 多彩な魅力に富む「かながわ」を実感できる大会

<参考：交流大会開催種目及び会場地>

(スポーツ交流大会：10種目)

種目	会場地
卓球	横須賀市
テニス	横浜市
ソフトテニス	小田原市・南足柄市
ソフトボール	小田原市
ゲートボール	藤沢市
ペタンク	大井町
ゴルフ	箱根町
マラソン	山北町
弓道	秦野市
剣道	伊勢原市

(ふれあいスポーツ交流大会：18種目)

種目	会場地
水泳	相模原市
グラウンド・ゴルフ	茅ヶ崎市
オリエンテーリング	真鶴町
ラグビーフットボール	厚木市・海老名市
サッカー	横浜市
ソフトバレーボール	藤沢市
なぎなた	川崎市
ウォークラリー	座間市
太極拳	大和市
軟式野球	川崎市・秦野市・中井町
ターゲット・バードゴルフ	綾瀬市
バウンドテニス	相模原市
ダンススポーツ	川崎市
パークゴルフ	開成町
インディアカ	南足柄市
スポーツウエルネス吹矢	平塚市
サーフィン	茅ヶ崎市・大磯町
スポーツチャンバラ	鎌倉市

(文化交流大会：4種目)

種目	会場地
囲碁	平塚市
将棋	愛川町
俳句	湯河原町
健康マージャン	厚木市